

注：指示があるまで開けないで下さい。

## 総合防犯設備士資格認定試験

### 第一次試験(筆記方式)

C 専門問題 (必須)	
出題	3 問
時間	150 分
配点	1 問 100 点・合計 300 点

受験番号	— —
氏 名	

### 注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。別紙図面にも受験番号・氏名を記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。  
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。  
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



### C 問題-1 (セキュリティについて)

非常対策とは、非常事態が発生した場合の行動に対する事前の備えをいう。

非常対策には、危機管理組織及び緊急対応組織の構築、危機管理計画の策定と最新化に加えて、以下の九つがある。記入例にならって空欄を埋めよ。ただし、順序は問わない。

	対策の種類	簡単な説明
①		
②	緊急招集体制の確保	勤務時間外あるいは休日に緊急事態が発生した場合の招集体制を確保し、それを実際に試しておく。
③		
④		
⑤	緊急通報・報告システムの確保	全組織的に対応するための第一報として、深夜あるいは休日を問わず常時有効な非常通報システムが必要である。
⑥	緊急業務継続管理システムの確保	組織の業務の停止あるいは継続についての意思決定判断と決定権者を定めるとともに、停止時の代替措置についても決める仕組みが必要である。
⑦		
⑧		
⑨	復旧対策の確保	継続してきた生活と組織活動を早期に再開できるようにする。

## C 問題-2 (防犯設備の構築)

設問欄にある平面図及び敷地配置図は、ある化学分析を行う会社のものである。建物には侵入警報システム、出入管理システムを導入し厳重に管理運用するが、併せて、事故の抑止と万一事故が発生した時の原因究明、再発防止策の策定、警察への捜査資料の提供などを可能とするため防犯カメラシステムを設置する。

### 条件

1. 当該建物は、都市の近郊に立地し、客先からの依頼された試料の化学分析を行う会社のものである。分析を依頼される試料は、依頼先の商品開発などに関連するもので、その取扱いには十分な配慮が求められ、かつ分析結果の取り扱いにも厳重な注意を要し、万一にも外部への流出などが起こらないようしなければならない。
2. この会社の業務時間は9～18時で土、日、祝日は休日である。なお、業務の関係で時間外の勤務はあるが、長時間に及ぶ残業や休日出勤は多くない。
3. 建物の敷地、建物への出入りは下記のとおりである。
  - ① 敷地出入口は、業務時間帯は開扉、それ以外は閉扉施錠状態で使用し、社員は社員証にて解錠して入門する。
  - ② 通用口は、社員の出入り、郵便、宅配便などの集配のための出入りに使用し、常時施錠にて運用する。社員は社員証にて、郵便、宅配便などの配達員はテレビドアホンで連絡し解錠してもらって入館する。なお、テレビドアホンは別途工事とする。
  - ③ 建物の玄関は、主として客先などの外来者が使用する。扉は業務時間帯のみ解錠しその他の時間帯は施錠しておく。
4. 分析室は2階に8室あり、各種の試験が可能な設備がそろっている。試験の種類によっては24時間連続で行うものもあり、その時には担当する社員は徹夜での対応となるので仮眠室が用意されている。したがって、試験装置の作動は社員が離席した状態で継続することがある。
5. 試薬保管庫には各種試験に使用する試薬類が保管されている。試薬類には劇薬や毒薬も含まれている。
6. 電気室には、万一の停電時に分析作業が中断しないように発電機などが設置してあり、常時は施錠しておく。
7. 防犯カメラの設置は、玄関、通用口、2階分析室(8室)への入室、及び門から敷地への出入りの状況を撮影するために、適切な画角になるよう適切な仕様のもを設置する。なお、その他必要とされる箇所への追加の設置は可とする。
8. 採用する防犯カメラシステムは同軸アナログHD(AHD、HD-TVIなど)方式とし、フルHD画像で撮影する。使用するカメラの撮像素子サイズは1/3型(CCDのイメージサイズ(高さ):3.6mm)、被写体の高さ(人物)は1.8mとして計算する。
9. デジタルレコーダーは、16チャンネルのものを使用する。

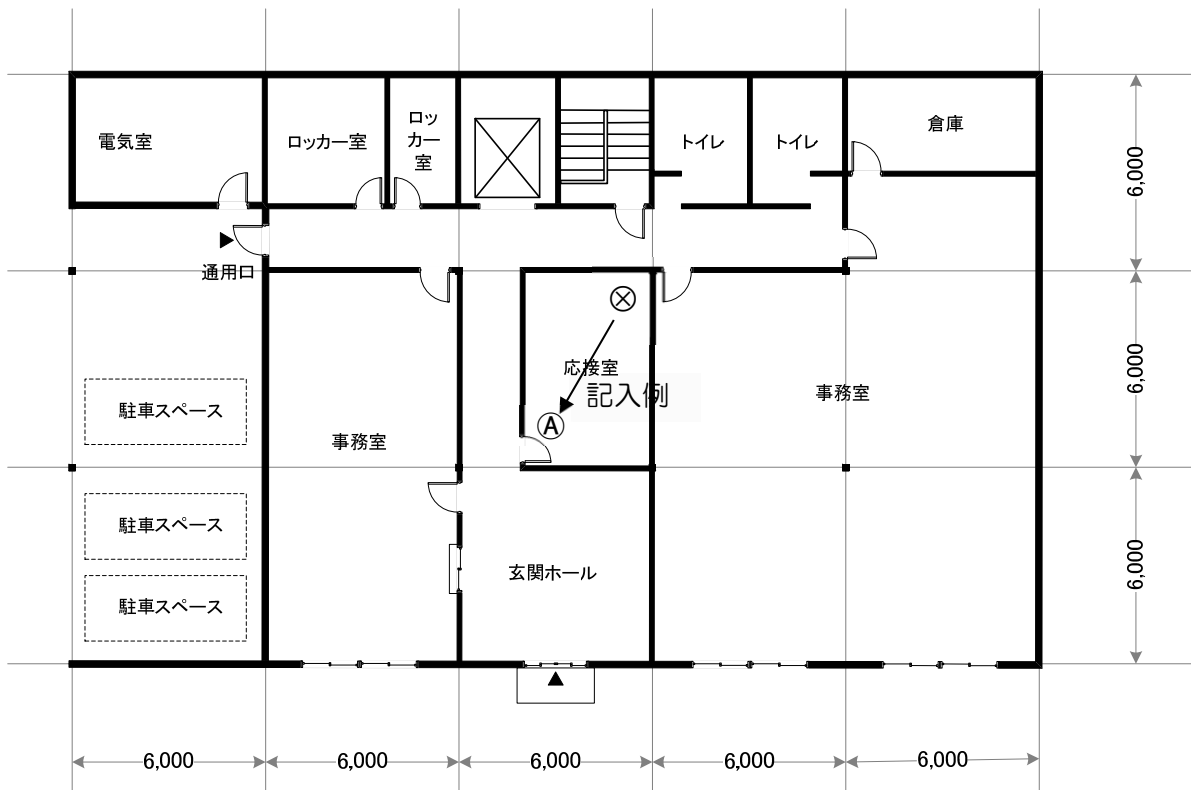
設問

前記の条件をもとに、1～4の問に答えよ。

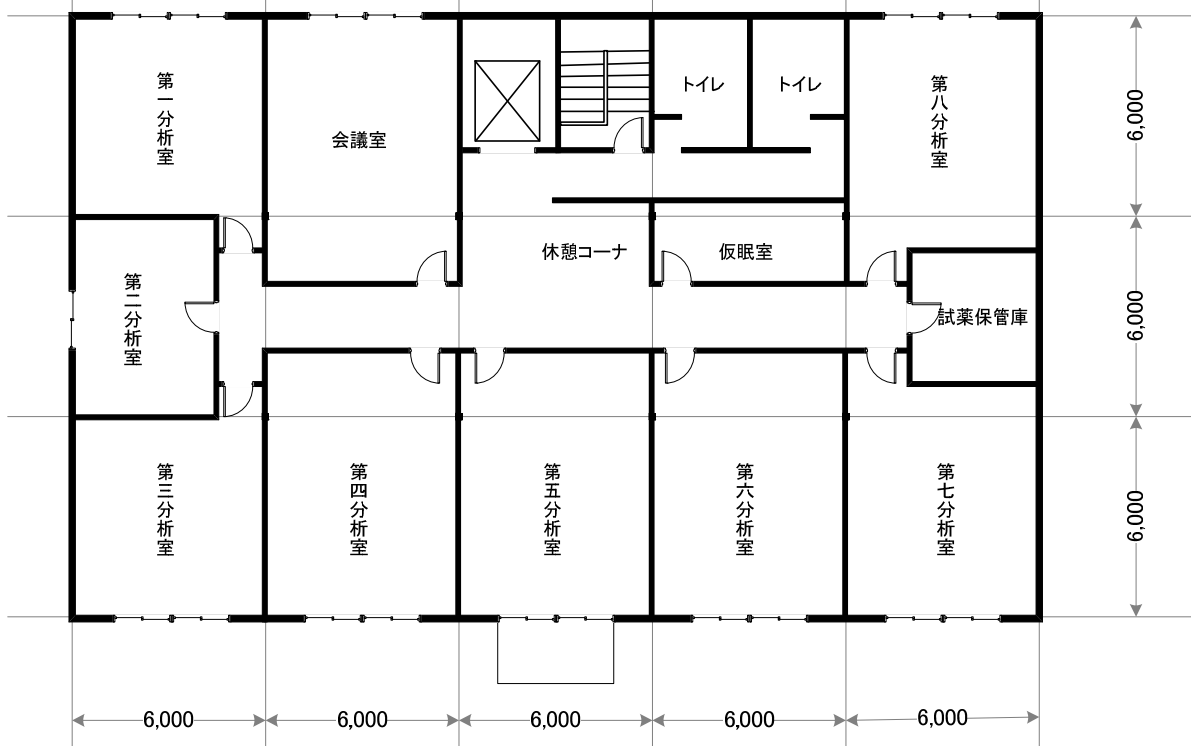
- 防犯カメラで撮影する場所、及びカメラの設置位置を1階平面図、2階平面図並びに敷地配置図上に記せ。ただし、防犯カメラの設置位置は⊗、カメラで撮影する場所はⒶ(○内のアルファベットは画角を示す)で表示し、2地点の関係を矢印で示せ。

表示例: ⊗ → Ⓐ (応接室の記入例を参照)

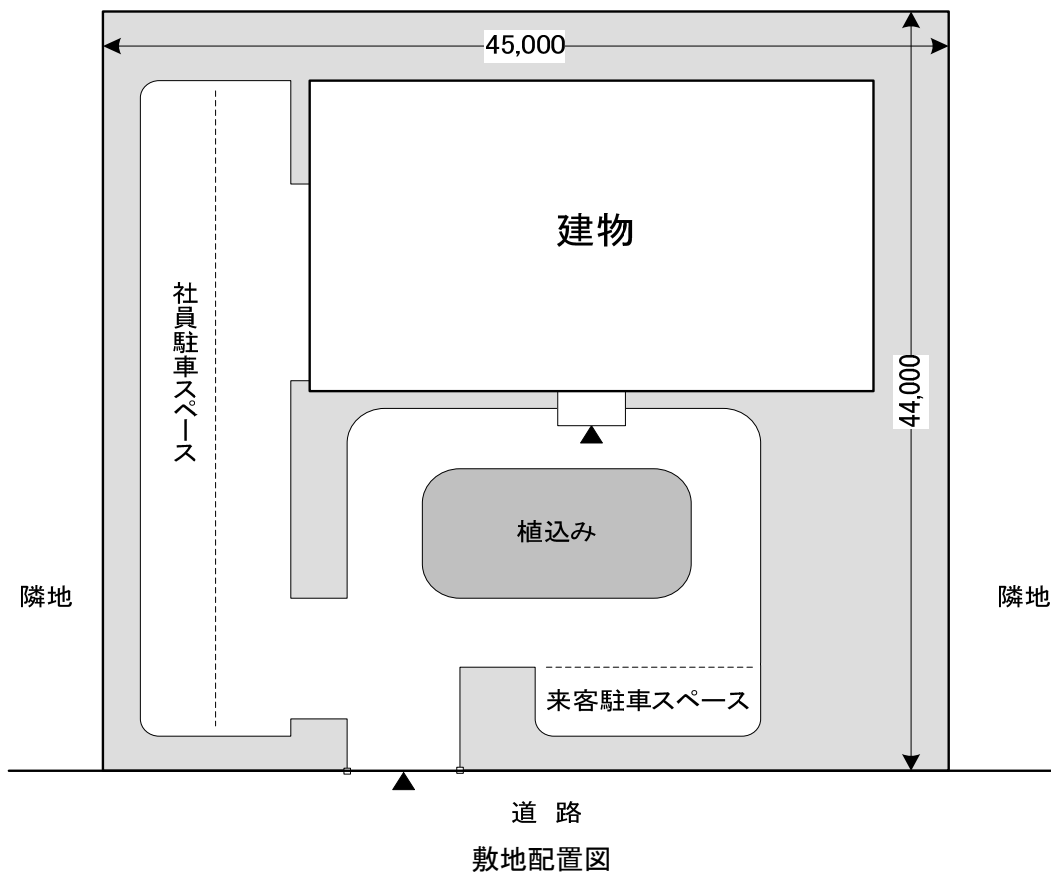
ただし、2階分析室は各部屋とも同様であるため第5分析室のみ記せ。



1階平面図



2階平面図



2. デジタルレコーダーの空きチャンネルを利用して、追加してカメラを設置する場合には、その追加設置の理由を記せ。

カメラ番号	追加設置の理由
13	
14	
15	
16	

3. カメラの仕様一覧表を完成させよ。

カメラ番号	撮影対象場所	撮影場所とカメラとの距離(m)	画角	焦点距離(mm)	形式	必要とする付加機能等
1	応接室内	5	A	5	ドーム型	なし
2	1階玄関					
3	通用口					
4	敷地外周の門					
5、7	分析室 1、3					
6	分析室 2					
8~12	分析室 4~8					
13						
14						
15						
16						

### C 問題-3 (総合防犯監査)

監査対象物件は、首都圏の人口 70 万人の自治体にあるテナント複合ビルである。

現在は貸事務所フロアへの出入時間を 7:00~23:00 に制限されているが、グローバル化と 24 時間のビジネスに対応のために、建物全体のセキュリティレベルを低下させることなく 4~9 階貸事務所フロアを 24 時間出入可能として 6 か月後に運営する予定である。

当該ビル管理者から聴取した防犯上の懸念事項や、運用時間の変更に伴う防犯上の脆弱性を評価し、それに対する是正・改善の具体策を提言せよ。

なお、省エネ対策としての各フロア無人時の消灯、エレベーター・エスカレーター運転制御なども含むこと。

現状の防犯設備(防犯カメラ、赤外線パッシブ検知器等)は、現状の運用では最低限の要求を満たしているため、24 時間運用へ移行しても現状の設備を極力有効活用し、新たな設備投資は避けたい。

現状設備の回路変更やプログラム変更にて対応したい。また、人件費などの固定費の増加も避けたい。しかし、新規設備の投入が不可欠であると判断する場合には、その旨を提言すること。

#### 当該ビルの施設・設備の現状の概要及び運用条件抜粋:

① 立地環境: 繁華街に隣接したオフィス街の一画で、繁華街中心部から 600m 離れている。

当該ビル付近の人通りは、昼間の人出を 100 とした場合、22:00 以降は 20 程度に減少する。

酔漢、浮浪者が多い。

当該ビルは、地区の防犯対策協議会に加盟していない。また、ビル内の各テナントが参加する共同防犯対策などは組織していない。

② 規模: 1フロア約 1,500 m<sup>2</sup>で、地下 1 階、地上 9 階、塔屋 1 階、SRC 造

③ 用途及び運用条件:

ア) 地階駐車場は、無人精算機による 24 時間営業で年中無休。

イ) 1 階屋外に平面駐車場と公開緑地。

ウ) 1 階コンビニエンスストア(テナント)は、24 時間営業、年中無休。

エ) 1~2 階店舗は、貴金属店及びファッション専門店・軽飲食店が入居(何れもテナント)しており、営業時間 10:00~21:00 で年中無休。

オ) 3 階は、飲食・味処専門店街(何れもテナント)で営業時間 9:00~23:00 で年中無休。

カ) 4~9 階貸事務所運用状況は、次頁の防犯の基本対策・設備保守の基本対策⑧項による。

キ) 塔屋及び屋上は、点検などの作業時以外は閉鎖。

④ 過去における周辺の犯罪事例:

ア) 商店及び事務所などの窃盗事件が多い。

イ) 商店の万引き事件が多い。

ウ) コンビニエンスストアにおいて強盗事件の事例がある。

エ) 無人駐車場の車上ねらいが多い。

- オ) 無人駐車場における高級車の盗難事件(数件)が発生している。
- カ) 無人駐車場の精算機荒し(数件)が発生している。
- キ) 無人駐車場で浮浪者による寝泊り(数件)が発生している。
- ク) 建物外壁に対していたずら書き(数件)が発生している。
- ケ) 公開緑地での器物の破壊が多い。

## 防犯の基本対策など:

【下記は、全て現在の状況・状態を表す】

- ① 自主防犯(自社警備員は2名で常駐体制)と侵入警報システムと防犯カメラシステムにより24時間体制で対処している。
- ② 非常発生時は、自動送信機により警備会社に通報している。
- ③ 設備トラブル・故障時などは、中央管理室で対処している。
- ④ 警備員による巡回は24時間とし、巡回時刻は不定时。ただし、巡回は、共用部のみとし、閉店後の各テナント内は除外している。
- ⑤ 1階ショッピングフロアの運用と防犯基本対策
  - ア) 借主の責任において管理する。1階貴金属店は、独自に警備会社と警備契約を結んでいる。
  - イ) 1階コンビニエンスストアの東側出入口(2箇所)は、常時施錠されており、火災信号を受けて解錠するシステムとなっている。
- ⑥ 2階貸店舗(ファッション専門店他)運用と防犯基本対策
  - ア) 営業時(10:00~21:00)は非常用押しボタンのみとし、営業時間外は、赤外線パッシブ検知器により警戒している。侵入警報への対応は、警備員が担う。
  - イ) 店舗の設計施工は借主によるため、出入口のマグネットスイッチは設置しない。要請に応じ金庫検知器を設置する用意はある。
- ⑦ 3階貸店舗(飲食店他)運用と防犯基本対策
  - ア) 営業時(9:00~23:00 閉店)は非常用押しボタンのみとし、営業時間外は、赤外線パッシブ検知器により警戒している。侵入警報への対応は、警備員が担う。
  - イ) 店舗の設計施工は借主によるため、出入口のマグネットスイッチは設置しない。要請に応じ金庫検知器を設置する用意はある。
  - ウ) 1階からのエスカレーターは、営業時間帯に合わせて運転している。
- ⑧ 貸事務所階(4~9階)の運用と防犯基本対策
  - ア) 貸室就業中は、無警戒となっている。
  - イ) 貸室が無人時の警戒は、赤外線パッシブ検知器及びスイッチストライク(鍵管理装置戸締り確認用)で行っている。要請に応じ非常用押しボタン、金庫検知器を設置している。
  - ウ) 貸室すべてが就業していない階のエレベーターホールなど共用部は、赤外線パッシブ検知器での警戒と防犯カメラによる監視を行っている。共用部の制御は、フロア単位での制御となっている。



### C問題-3 (総合防犯監査)

#### 防犯の基本対策など(続き):

- ⑨ 地階から3階までの共用部及びエレベーターの運用と防犯基本対策
- ア) 建物内の要所には防犯カメラを設置し、中央管理室ではモニタリングをしている。
  - イ) 営業時は、モニタリングをしている。
  - ウ) 建物1階の出入口は通用口を除き、23:00~7:00の間施錠している。
  - エ) エレベーター①は24時間、エレベーター②③は開館時間帯に運行している。
  - オ) エレベーター内には防犯カメラを取り付け、中央管理室ではモニタリングをしている。
- ⑩ 地階駐車場運用と防犯基本対策
- ア) 開館時間帯での駐車場への出入りは、1階よりエレベーター又は階段で若しくは⑦通りの地上に通じる出入口からとしている
  - イ) 閉館時間帯での駐車場の出入りは、管理人室横の階段②経由のみとし、地階駐車場コア部分への扉は施錠し、通行は契約者のみとしている。
  - ウ) 駐車場内に防犯カメラを設置し、中央管理室でモニタリングをしている。
- ⑪ 建物外周敷地部の防犯基本対策
- 中央管理室において常時録画できるモニタリングシステムを設けている。基本的に満足するもので、今回の監査範囲から除外する。
- ⑫ 設備されている主要な機器の概略
- ア) 統合電気錠制御盤は中央管理室に「設置され、個々の施錠／解錠がスイッチにより操作ができ、施錠／解錠、異常などの状態が一目で確認ができるものである。
  - イ) キーカセット方式鍵管理装置(入退出者操作盤)は、以下となっている。
    - i) キーカセット方式鍵管理装置は通用口内側に設置してある。(壁掛型)
    - ii) 制御部は中央管理室に設置してある。(壁掛型)
    - iii) 使用状況の記録は内蔵したプリンターにより確認できるものである。
    - iv) 非接触式カードと暗証番号によって操作する方式である。
    - v) 液晶表示及び音声によるメッセージ式である。
    - vi) 鍵はカセットホルダーに取り付け封印した形で保管する方式である。
    - vii) 運用は各テナントの部屋の初入者はカード操作で鍵を取出し自分の部屋の鍵を解錠している。最終退室者は扉を施錠し、鍵管理装置に鍵を返却している。
    - viii) 現状では、各テナントの最終入室者と最終退出者識別信号をもって当該室の警戒・解除を行い、その他の設備とは連動していない。

### C 問題-3 (総合防犯監査)

200項目を超える防犯対策上の管理者懸念事項、問題点・脆弱性が列挙された。それらの一部については是正・改善策を具体的に提言せよ。

#### 解答欄(1/2)

管理者懸念事項 問題点・せい弱性	是正・改善点の具体的提言
当該複合ビルが位置する地区における共同防犯対策組織などに加盟していない。	・
防災対応組織と同様な防犯に対応した組織が構築されていない。	・
各時間帯・各エリアの稼働状況(利用状況)に応じた防犯対策を関係者が時系列的に明確に認識していない。	ア) 地階駐車場は、1日24時間、年中無休 イ) 1階コンビニは、1日24時間、年中無休 ウ) 1～2階店舗、営業時間10:00～21:00、年中無休 エ) 3階店舗、営業時間9:00～23:00、年中無休 オ) 4～9階貸事務所の業務時間は、24時間(Office Hour 8:00～19:30、19:30～8:00)を別々に考える。 オ) 屋上及び搭上は、点検などの作業以外は閉鎖
閉館時の共用部分の不審者の行動が検知できていない。	・1階エスカレーター付近及び2階、3階のエレベーターホールに赤外線パッシブ検知器を設置し、残留不審者の存在を検知すると共に現有の防犯カメラでモニターする。
駐車場車路からの侵入を阻止する方策・運用基準が明確でない。	・ ・ ・
駐車場の運用が明確でない。	・駐車場はビル関係者の契約者とビル来訪者などの使用をコントロールする。 ・ビル関係者の契約者は24時間使用可、ビル来訪者は開館時間中のみとする。 ・駐車場への出入りは、コア部分及び階段①とする。ただし、階段①は7:00～19:00の間を使用可能とする。 ・閉館時はコア部分周囲の4か所の扉は施錠し、契約者のみ通行可能とする。

C 問題-3 (総合防犯監査)

解答欄(2/2)

管理者懸念事項 問題点・せい弱性	是正・改善点の具体的提言
24 時間ビルに対応するため事務所関係者(来客等も含む)のビル内の動線が明確でなく、時系列で関係者に周知できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階～3階開館時(7:00～23:00)⇒1階出入口を使用する。</li> <li>・1階～3階閉館時(23:00～7:00)⇒1階通用口を使用する。</li> </ul> <p>ただし、事務所社員以外は管理人室の受付で入館の登録を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下駐車場へ車で来館者は、駐車後近くの扉からコア部分へ入館する。</li> <li>・上記いずれの人も目的の事務所階へはエレベーター②を使用する。</li> </ul>
物販、飲食の来店者の動線が明確でない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
4～9 階貸事務所勤務者の入館・退館の動線(経路)が時間帯別に明確でない。されていない。(時間帯別の動線(経路)を⇔の記号で示すと右のようになる)	<p>【8:00～19:30】 通用口(又は地下1階駐車場) ⇔ 鍵管理装置 ⇔ ELVまたは徒歩⇔ 自室</p> <p>【19:30～8:00】 通用口 ⇔ 鍵管理装置 ⇔ ELV(③～④通り/C通り) ⇔ 自室</p> <p>【19:30～8:00】 地下1階駐車場 ⇔ ELV(③～④通り/C通り) ⇔ 鍵管理装置 ⇔ ELV(③～④通り/C通り) ⇔ 自室</p>
エレベーターの運用の再構築が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター①は、非常用であるため、24 時間使用可能とする。また、荷物の搬入などにも使用する。</li> <li>・エレベーター②は、事務所階専用として、2、3 階は不停止とする。また、閉館時は間引き運転を行う。</li> <li>・エレベーター③は、店舗階専用として、平時は地階～3 階で運用する。</li> <li>・外部者の不法侵入を阻止するため、キーカセット方式鍵管理装置カードIDにより、利用するフロアのみ停止するようELV側の制御を変更する。外部者は、ロビーインターホンで連絡し、当該室まで誘導するなどの手順で運用する。</li> </ul>
階段室を利用して他の階への侵入を防止できない。 エスカレーター使用制限が明確でない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段室扉は 1 階、地階を除き自動施錠を取り付け、階段室への入室はフリーであるが、階段室から廊下側への開扉は管理者以外不可とする。</li> <li>・2～3 階店舗営業以外は、エスカレーターは運転停止。エスカレーターを歩いて他の階に移動できないように「利用禁止・侵入禁止」などの表示やバリヤを設ける。</li> </ul>
鍵管理装置の機能を有効に活用する。	<p>鍵管理装置で得られる部屋の不利用の信号により当該階でのエレベーターの不着床、共用部分の照明の消灯、共用部分及び事務室の空調の停止を行う。</p> <p>1～3 階店舗の鍵も鍵管理装置で管理する。</p>

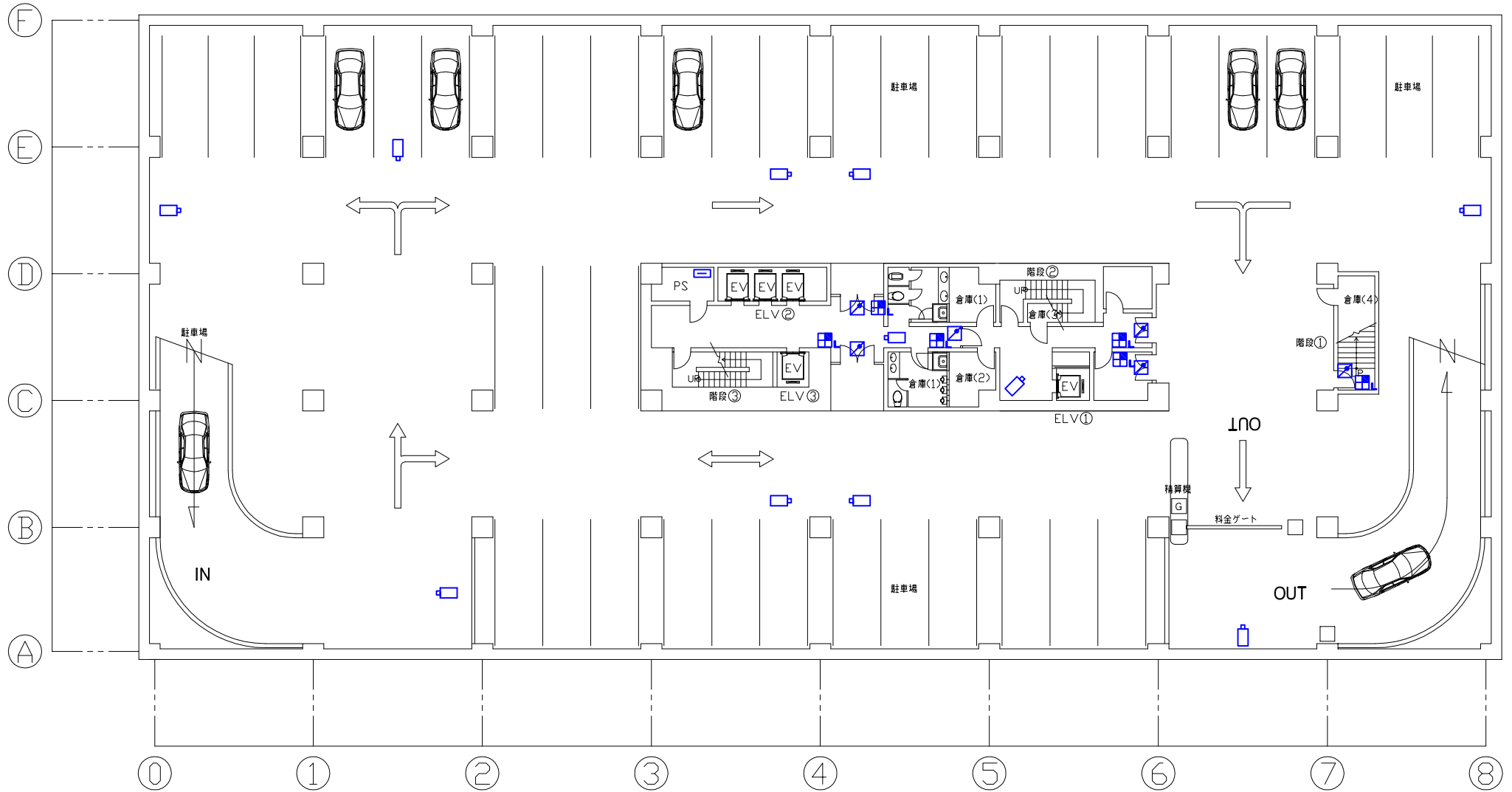
【C専門問題(必須)問題一3】【機器配置図】

監査対象施設及び防犯システム図

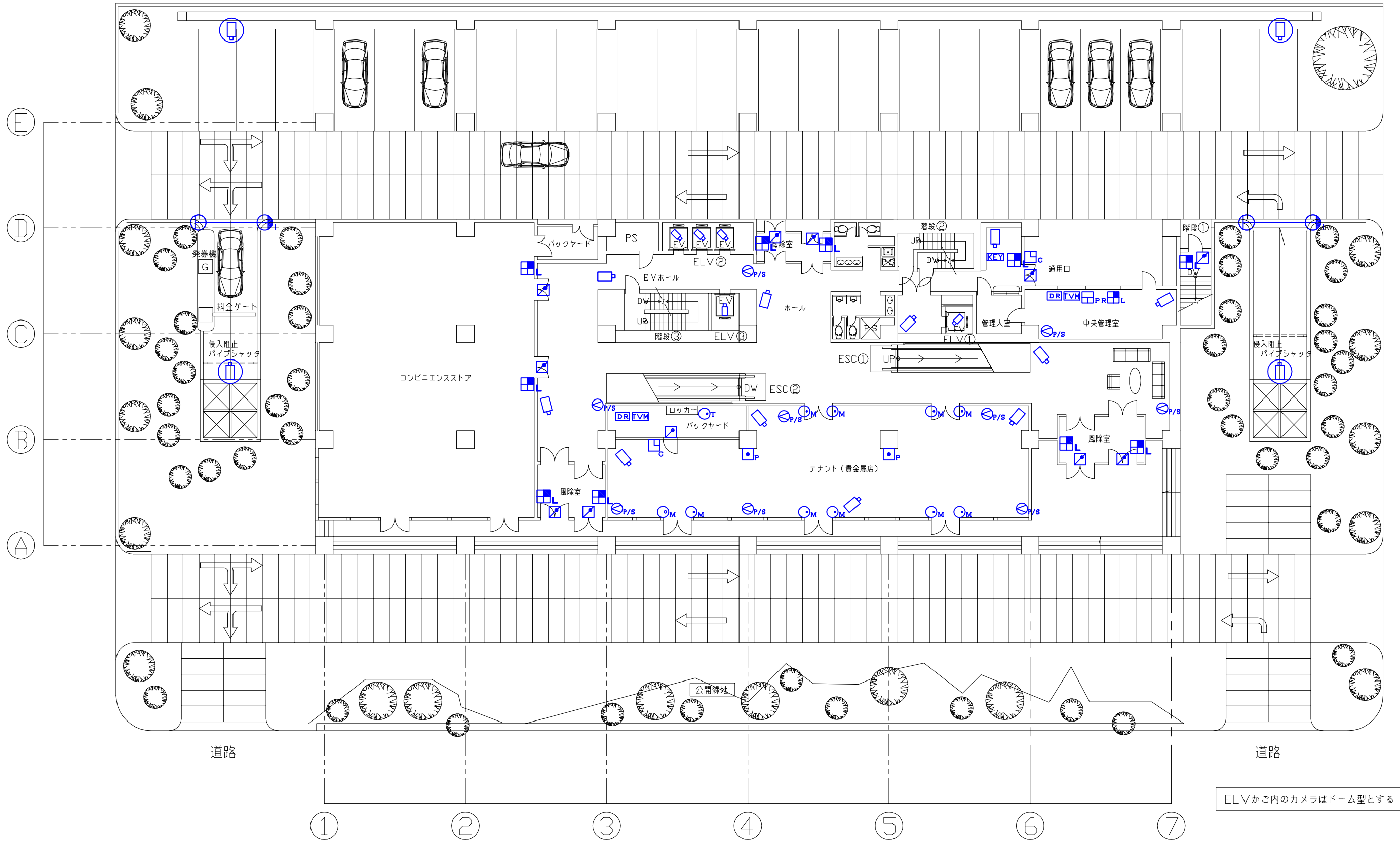
① 機器配置図 (地下1階)

受験番号： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

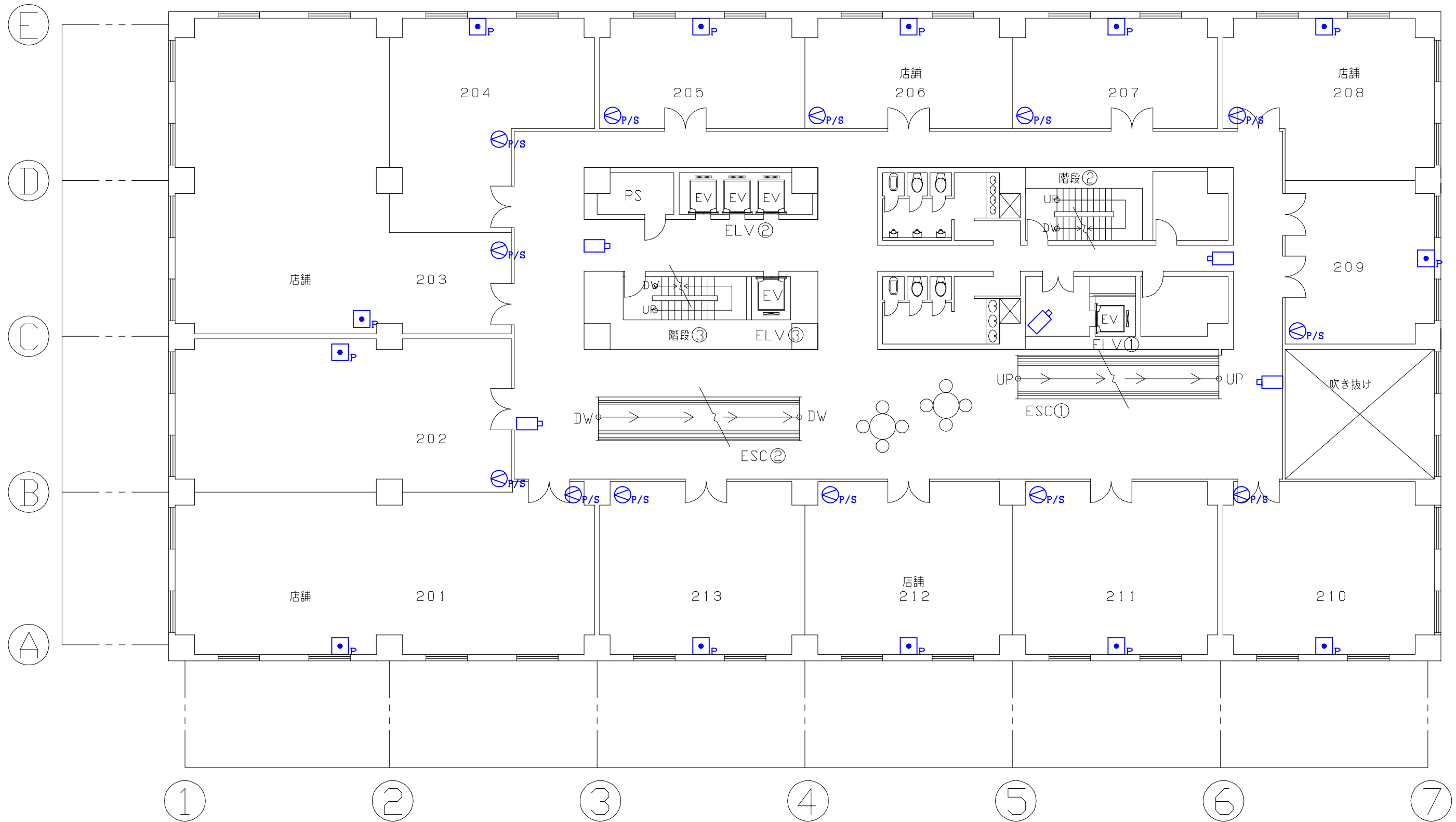


② 機器配置図 (1階)

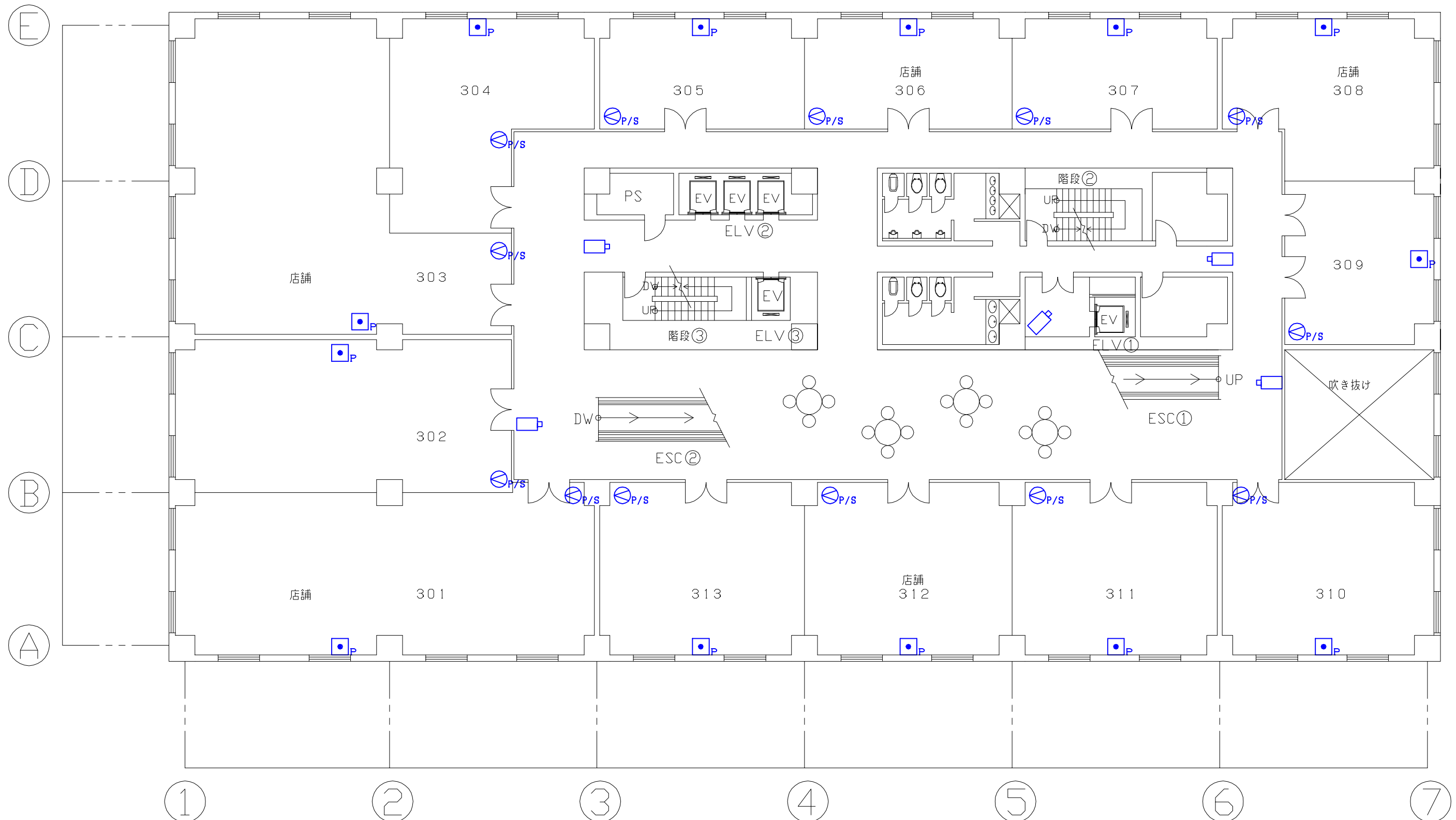


ELVかご内のカメラはドーム型とする

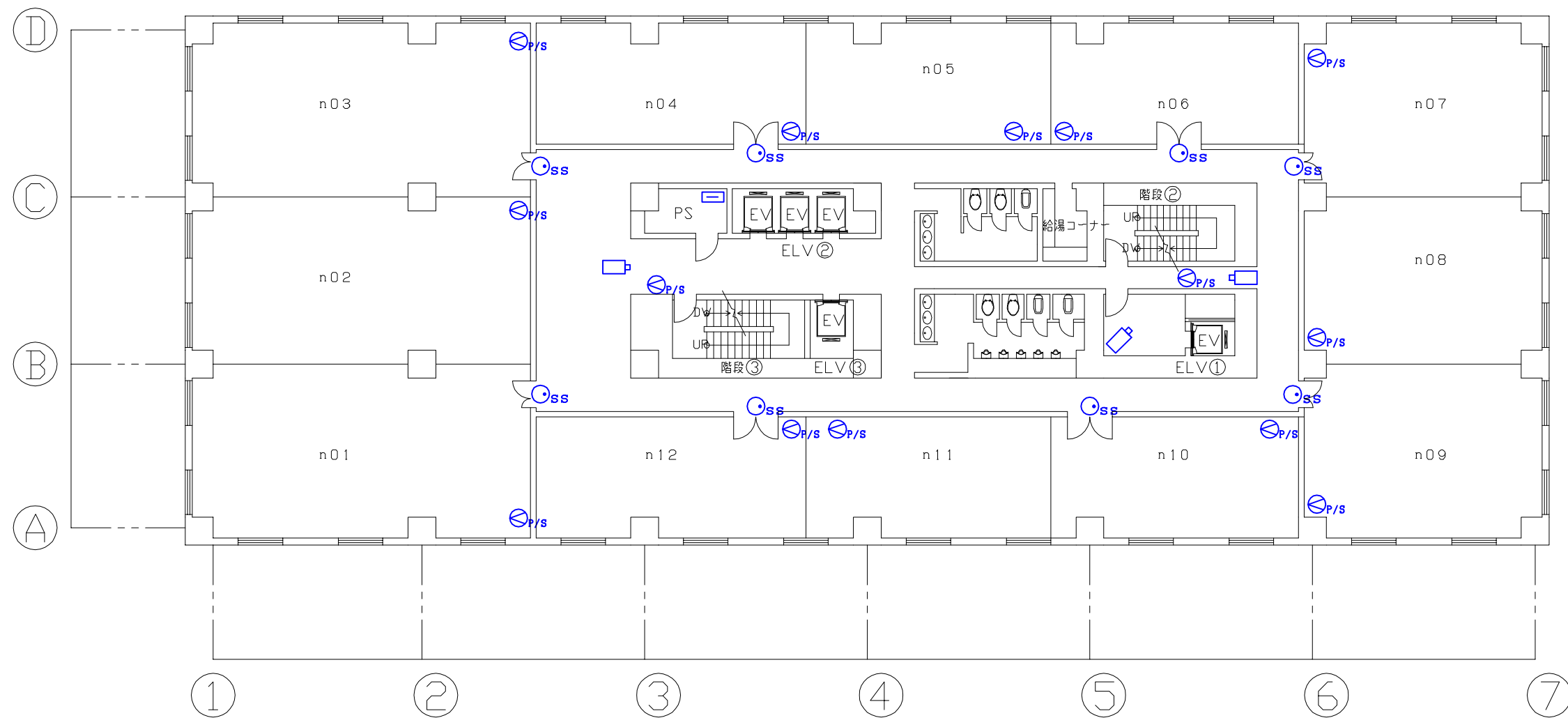
③ 機器配置図 (2階：ファッション・衣料品専門街)



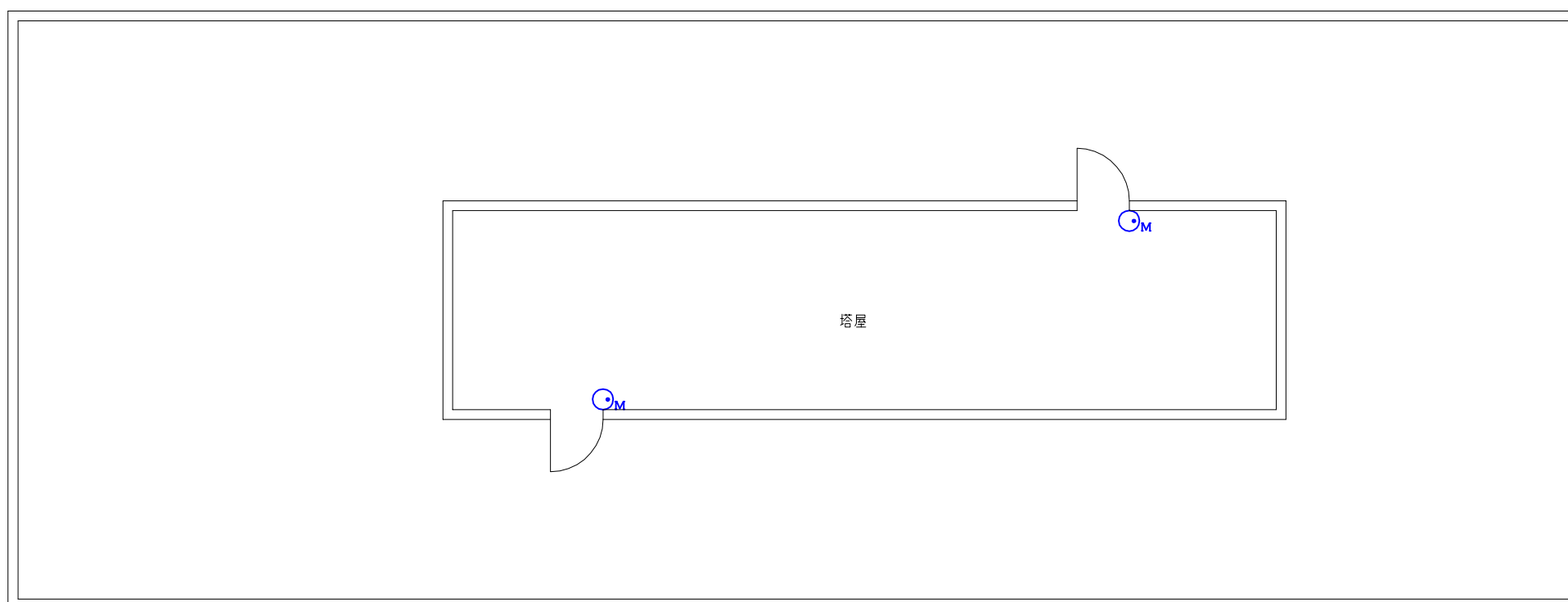
④ 機器配置図 (3階：飲食・味処専門店街)



⑤ 機器配置図 (4階以上：貸事務所、屋上階)



共通階 (4階~n階)



屋上階  
(屋上階の階段・EVなどの図は省略)